

請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	平成 29 年 5 月 31 日 第 4 号
件 名	「共謀罪」法案（組織的犯罪処罰法改正案）の廃案を 求める請願
請 願 者	秦野市鶴巻南四丁目 8 番 C-306 号 文京平和委員会 川田 正美 外 13 名
紹介議員	板 倉 美 千 代
請願の要旨	次 頁 の と お り
付託委員会	総務区民委員会

請願理由

このほど政府は、犯罪の合意を処罰する「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ組織的犯罪処罰法改正案を上程しました。この「共謀罪」法案は過去3度にわたり提出されたものの、憲法で保障された思想・信条、内心の自由を侵すものとして、国民の大きな反対によって廃案となったものです。

今回の法案も、以下のように多くの問題点があります。

第一に、政府は東京五輪の開催を控え、テロ対策としてこの法整備の必要性を強調しますが、適用される対象 277 犯罪にはテロとは無関係のものがあり、「組織的犯罪集団」の定義もあいまいで、市民活動も対象になりかねません。

第二に、犯罪が実行される前段階での合意や準備行為だけで処罰することは、近代刑法の原則を覆すものであり、また該当行為の範囲も不明確です。

第三に、共謀罪が新設されれば、日常的な会話が盗聴される恐れがあり、また市民同士の相互監視や密告者会を生み出す危険もあります。

よって私たちは、以下のことを強く求めます。

請願事項

- 1 「組織的犯罪処罰法改正案」を廃案にするよう、国に求めること。